

2022 年度

九州大学秋季バレーボール男女 1 部リーグ大会

代表者会議マニュアル

9 月 **20** 日 (火) 18:00～ [Zoom オンライン](#)

2022 年度 九州大学秋季バレーボール男女 1 部リーグ大会

主催	九州バレーボール連盟	九州大学バレーボール連盟
主管	鹿児島県バレーボール協会	鹿児島大学バレーボール連盟
	長崎県バレーボール協会	長崎県大学バレーボール連盟
	沖縄県バレーボール協会	沖縄県大学バレーボール連盟
	福岡県バレーボール協会	福岡県大学バレーボール連盟
	大分県バレーボール協会	大分県大学バレーボール連盟

I, 大会日程

1, 大会期間及び会場

【男子】

第 1 週	2022 年 9 月 24 日 (土) ~25 日 (日): 志學館大学
第 2 週	2022 年 10 月 1 日 (土) ~ 2 日 (日): 西日本工業大学
第 3 週	2022 年 10 月 15 日 (土) ~16 日 (日): 九州産業大学
第 4 週	2022 年 10 月 22 日 (土) ~23 日 (日): 西日本工業大学
第 5 週	2022 年 10 月 29 日 (土) ~30 日 (日): 九州産業大学
入れ替え戦	2022 年 10 月 30 日 (日): 九州産業大学

【女子】

レギュラーラウンド第 1 週	2022 年 9 月 23 日 (金) ~25 日 (日): 鹿屋市体育館
レギュラーラウンド第 2 週	2022 年 10 月 1 日 (土) ~ 2 日 (日): 佐世保東部スポーツ広場体育館
ファイナルラウンド	2022 年 10 月 20 日 (木) ~23 日 (日): 豊見城市民体育館

2, 開会・閉会式 開催しない

- 3, 代表者会議 9 月 19 日 (月) 18:00～ Zoom
<https://us06web.zoom.us/j/87360384343>
ミーティング ID: 873 6038 4343

4, 表彰式

表彰式は、試合終了後最低限の人数でマスク着用の上、表彰を行う。

5, コロナウイルス感染症への対策

(1) 新型コロナ感染症対策について

公益財団法人日本バレーボール協会

「バレーボール競技にかかわる大会等再開時のガイドライン」

<http://hyougo-volley.greater.jp/hyougo/20gyoji/07saikai.pdf>

公益財団法人日本スポーツ協会

「新型コロナウイルス感染症の対応指針」

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline4_210215.pdf を遵守すること

(2) 新型コロナウイルス感染症対策として大会関係者に以下の取組を定める。

○九州バレーボール連盟『健康チェックシート』により各チーム体調の管理をして大会に参加すること。**提出必須**

○参加するにあたり、厚生労働省が推奨する新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をインストールし正常に動作するよう設定しておくこと。

※大会2週間前から健康チェックシートにて体調管理を行う。

(3) 1. 会場入場時に体温が37.5度以上あった対象者に対しては、以下の通りとする。

①再度体温を測り直し、それでも37.5度以上の場合、会場に入場させないこと。

②自宅（宿泊先）に一人で戻り、待機すること。

③帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、保健所に連絡の上指示に従う。

④一緒に来場した選手たちに関して、下記ア～オの症状がない場合は、入場を認める。

ア 咳の有無

イ 咽頭痛の有無状態

ウ 頭痛の有無

エ 体のだるさ

オ 嗅覚・味覚の状態

⑤熱を出した大会参加者がPCR検査陰性であった場合は、体調の経過によっては医師や監督の判断で参加も可能とする。

2. 対戦チームに感染疑いを含む体調不良者、濃厚接触者、陽性者が発生した場合は、保健所の基準に従い判断する。試合参加可能と判断された場合も経過観察をし、症状がないことを確認すること。

(4) 原則として、自チームの試合や審判役員が終了後、可能な限り速やかに退館すること。

(5) 大会2週間前から大会終了後2週間の期間に新型コロナウイルス感染を疑う症状または発症した場合は保健所に確認の上、濃厚接触者の有無等について学連に速やかに報告すること。また、経過観察について、以下の専用窓口にて随時報告すること。

○感染者対策窓口：health@juvf.jp

II, 競技・審判の注意事項

1, 競技規則

- (1) 2022年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
 - ① スタッフ、選手の試合途中参加はその都度できる。
 - ② スタッフ、選手が途中参加の場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。
 - a. 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝える。
審判が確認した時点で権利を行使することができる。監督はセット間もしくは、試合終了後に記録用にサインする。
 - b. プレーヤーの試合途中参加は、その都度できる。遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。
- (2) 棄権チームは、事前に文書にて学連本部へ提出する。虚偽が認められた場合は、次季チャレンジマッチ最下位とする

2, 競技方法

- (1) 全試合5セットマッチとする。
- (2) 最終日に入れ替え戦を行う。
男子チャレンジマッチとの入れ替え戦は、1部6位とチャレンジ1位が行う。
女子チャレンジマッチとの入れ替え戦は、1部11位とチャレンジ2位、1部12位とチャレンジ1位が行う。
- (3) 女子ファイナルラウンドで棄権チームが3チームまたは4チーム出て、グループ戦がなくなった場合には前試合の結果の順位をそのまま用いることとする。また、全チーム棄権とみなす。
- (4) コロナ感染により棄権チーム（正式に棄権届が提出され）が出た場合は、相手チームの不戦勝（3-0：0-0、0-0、0-0）とする。コロナ関連以外の棄権（不戦敗）の場合は、競技規則通りとする。

3, 試合使用球

- (1) 今大会は、男子がミカサ製（V300W）を使用する。
女子がモルテン製（V5M5000）を使用する。
- (2) 全試合5ボールシステムで試合を行う。

4, 開場時間

- 【男子】 全日程 8：30
【女子】 全日程 8：30 （10月20日のみ13時開館）

5, 選手・スタッフ登録

- (1) （公財）日本バレーボール協会、及び（一財）全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されたチームで本大会にエントリーされていること。

- (2) 1チームのスタッフは部長1名(必須)、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名、マネージャー1名(但し、部長は1名(一財)、全日本大学バレーボール連盟に登録された者、マネージャーは当該大学の学生であること)。エントリー申込受付後は、原則として、エントリーの変更は認めないので注意すること。
- (3) 正規の競技者はリベロプレーヤー(以後リベロとする)の人数割りについて13名以上、選手登録するときは2名のリベロを登録しなければならない。
- (4) 当日のエントリーは19名(選手14名+ベンチスタッフ5名)とする。

6. 競技者・スタッフメンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
 - ① 全試合、開始設定時刻の30分前までに、大会本部へ提出すること。
 - ② コンポジションシートの提出後の変更は認めない。
 - ③ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
 - a. 正規に登録されたスタッフをコンポジションシートに記載し提出すること。
 - b. スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限り認める。
- (2) 各セット開始前に提出されたライン・アップ・シートの変更は、記録員が公式記録(IF)に記載した後は認めない。
- (3) 連盟に正規に登録のスタッフが、男女同一大学の試合のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合はどちらかのチームにのみエントリーを行うこと。また変更者は登録を完了していること。

7. 試合開始時刻

試合開始時刻の1時間前をフロア開放とし、ボール練習を含めたウォーミングアップを認める。ただし、会場によっては、密を避けるため、時間の変更もある。

- (1) それぞれの試合時間は以下の時間に設ける。設定時間より前には試合を始めない。
 - 第1試合 9:45~プロトコール 10:00~試合開始
 - 第2試合 11:30~合同練習, 12:15~プロトコール, 12:30~試合開始
 - 第3試合 14:00~合同練習, 14:45~プロトコール, 15:00~試合開始
- (2) 前の試合が時間を押した場合は学連より開始時刻を伝達する。
(合同練習の時間を必ず30分は取る)。
- (3) 大会期間中、フロアでのアップを行うのは試合前のチームのみとする。
- (4) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。

8. 公式練習及び試合時のベンチ

- (1) 公式練習には、スタッフとして認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者14名のみが参加することができる。クイック・モッパー2名については、ボールキーパーとしての参加を認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。

- (2) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー（最大3名）を配置すること。
- (3) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー・クイックモッパーを含め、最大3名を配置すること。ただしボールキーパーは、他のコートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切してはならない。
- (4) ボールカゴ、部旗は公式練習後に競技エリア外へ出すこと。
(当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。)部旗は床に倒しておくこと。
- (5) ベンチには飲料水、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。
- (6) **感染症対策として、タオル・ボトル・アイシングパックの共用は禁止**する。

9, ユニフォーム

- (1) 本大会のユニフォームの広告は（一財）全日本大学バレーボール連盟ユニフォーム内規によって規制される。
- (2) ソックスについては長さの色を統一し、刺繍（ロゴマーク等）のワンポイントまで認める。（但し、公認企業以外のメーカーのロゴ等が露出するソックスを着用する場合、安全に十分に配慮し、マスキングを施すこと。）尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。
- (3) アンダーウォーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。
- (4) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (5) リベロの着用するユニフォームは、チームのほかの競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (6) リベロと他の競技者のユニフォームの色が共に2色以上用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。

10, リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- (1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
- (2) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーが出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーができなくなったことを宣言することができる。リベロができなくなったと宣言されたときには監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）が、主審の許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。（リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であればだれでも良い。）
- (3) リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、元のプレーヤーには戻れない。
- (4) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められないが、もう一人のリベロも試合でプレーが続行できなくなった場合は、他の選手を試合終了まで再指名することができる。

- (5) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
- (6) 監督が副審に、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイスメント・ゾーンに、いなければならない。（再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る）しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
- ① リベロがコート上にいるときでも、再指名をすることができる。セット間にリベロを再指名したとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
- リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

1 1、ワイピング行為について

- (1) クイック・モップァーは当該チームから2名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一された物であること。また、迅速に行うこと。
- (2) クイック・モップァーがいない時は、コート上の選手が行うのでワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モップァーが必ず行うこと。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチ控え選手または、クイック・モップァーが必ず行うこと。
- (4) クイック・モップァーが応援及びチームのマネジメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (5) 感染症対策としてクイック・モップァーはベンチ側に1名、ベンチの反対側に1名で待機すること。

1 2、競技全般の不法行為の取扱い

- (1) 2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) 九州大学バレーボール連盟、（一財）全日本大学バレーボール連盟及び（公財）日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフが試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
- ① 試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に従って処分する。
- ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細の従い、規律委員会で協議し決定する。
- (4) 不法な行為については、同一人物が同一試合での繰り返し行為は累進的な罰則を受ける。
- ① 「非スポーツマン的行為」及び「無作法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。
- 原則として次の手順を踏む、行為内容によっては、レッドカードもあり得る。

(例)

- ・警告：ステージ1 口頭での警告
- ・警告：ステージ2 警告 イエローカードを示す。
ペナルティ レッドカードを示し、相手に一点を与える
退場 イエロー、レッドカードを同時に示す~~す七、相手に一点を与える~~
失格 イエロー、レッドカードを別々に示す
「攻撃的行為」については、1回目で失格する。

1 3、チームスタッフ

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の全ての役職を行うことができる。
(但し、マネージャーは当該大学生のみとする。)
- (2) **部長は当該大学の教職員でなければならない。**
- (3) 当該大学の学生で、九州大学バレーボール連盟、(公財)日本バレーボール協会、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装(ジャケット必須)とする。ただし、ネクタイ不要、コーチ・トレーナー・マネージャーの服装については、原則として統一された服装のものを着用すること。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く、熱中症等が懸念される場合は実行委員の判断により緩和することができる。
- (5) 部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (6) 試合中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (7) 監督が試合中に妨害ある遅延を行わない限り、自チームのベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- (8) 審判員の判定に対するアピールや抗議、監督自身がライン判定をする行為を禁止する。
この行為は制裁の対象となる。
- (9) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。
(相手チーム選手の番号や名前を特定する為)このような行為は制裁の対象となる。
- (10) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章を付けなければベンチに入ることができない。

1 4、応援について

応援を行う際は、マスクを着用し、できるだけ間隔をあけて行うこと。大声での応援は禁止とする。

1 5、学生補助役員について

- (1) 学生補助役員は17名（記録員1名、リベロチェック1名、JVIMS3名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名）で行う。

その際マスクの着用をする。手袋をする、ボールをこまめにアルコール除菌するなど感染症対策を行うこと。

- ・主審、副審 : マスク着用、ホイッスルカバー使用
- ・スコアラー、リベロチェック、JVIMS : マスク着用、~~フェイスシールド~~着用
- ・ラインジャッジ : マスク着用、フラッグは各チーム持参
- ・リトリバー、点示 : マスク着用、手袋着用

- (2) プロトコール開始15分前までに記録席に集合すること。
- (3) ラインジャッジは審判員の一人として正確なジャッジをすること。
- (4) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (5) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当たること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。

1 6、棄権の取扱いについて

- (1) 競技違反、規則違反があった場合はただちに規律委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。
- (2) 2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則、2022年九州大学秋季バレーボール男女一部リーグ大会要項・競技上の注意事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会において、処罰の対象となるので十分注意すること。

IV、会場使用上の注意

各会場の使用上の注意事項を熟読しておくこと。

- (1) 横断幕等の貼る際には各会場の注意事項に従うこと。
- (2) フロアでの撮影は禁止とする。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする。
企業席・観覧席を設ける為、企業関係者・報道関係者は該当する場所で観覧すること。
- (3) 各会場での電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。チームのデータの為のビデオの充電は全会場学連委員に申し出ること。
- (4) 本大会で施設を利用する際、施設内は禁煙、喫煙については各施設の利用規則を厳守すること。
- (5) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わないものとする。

各チームともに荷物の管理は徹底すること。

※忘れ物・紛失物に関しましては、各会場受付にてお預かりします（大会開催中のみ）。恐れいりますが各会場受付までご連絡ください。

貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。

- (6) チームの荷物置き場は、各会場にて学連員に確認すること。翌日の試合のために荷物を置いている場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して、最小限のスペースに留まるように協力し、消毒して帰ること。

チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても連盟は一切の責任を負わないこととする。

- (7) 会場で出たごみは各自（各チーム）責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。（特に弁当やごみの回収に関しては、各チームで責任をもって持ち帰ること。）

また、鼻水、唾液などの付いたごみや使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ密封して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用すること。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

V, その他

- (1) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当及び会場運営管理担当者の注意事項（誘導）に従って適切な行動を行うこと。
- (2) 本大会前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (3) 大会の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。以後の責任は負いません。
- (4) 練習会場は用意しません。
- (5) 宿泊・弁当については、各チームで手配してください。

VI, エントリー変更・追加

- (1) 変更・追加申込期間 9月19日（月）代表者会議終了後1時間以内にメールにて提出
※変更がない場合でも提出すること。

男女：藤田乃那 s211104@sky.nifs-k.ac.jp

（締め切り期日を過ぎた場合は変更を認めないので注意すること）

申込受付後のエントリー選手の変更は原則認めない。

- (2) 1部リーグのエントリー変更・追加は代表者会議までとし、ファイナルラウンドでの変更・追加は不可。